

# 臨床遺伝診療部

## 遺伝カウンセリング室

平成28年4月より、  
本院に遺伝カウンセラーが  
配置されました！



■説明は  
徳島大学病院 臨床遺伝診療部  
**宮本 容子**（みやもと・ようこ）  
認定遺伝カウンセラー

## ◎遺伝性疾患とは

遺伝子や染色体の変化などによって引き起こされる病気を、広く「遺伝性疾患」といいます。親から子・孫へ伝わる病気だけでなく、遺伝子や染色体の変化が突然変異によって起きることもよくあります。

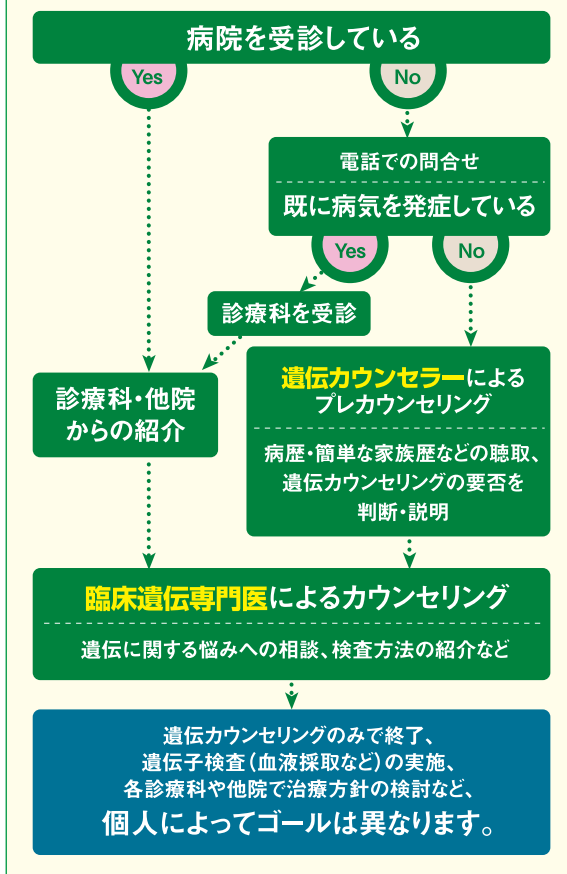
遺伝性疾患はめずらしいものではありません。誰もが皆、病気の遺伝子を数個はもっているため、誰でも病気を持ったり、関わったりする可能性があります。最近では、生活習慣病やがんなど、ほとんどすべての病気に遺伝的素因が関係しているといわれています。

このようなことで悩まれていませんか？

- 子どもが先天性の病気と診断された。
- 妊娠したが、赤ちゃんに異常がないか心配。
- 自分の病気が子供に遺伝しないか心配。
- 親戚に若年性のがんの人が多く、  
自分もがんにかかるリスクは高いのか。

不安をもつ患者さんは、初めてのことで何が心配なのかご自身で表現できないこともあります。遺伝カウンセリングでは、注意深く患者さんに耳を傾け、患者さんが不安に思っていることを一つずつ明確にしていこう努めています。

## カウンセリング・治療の流れ



## ◎遺伝子検査で気をつけること

遺伝子検査が可能な疾患は限られています。また、ほとんど保険適応ではありません。遺伝子検査を受ける際には、検査がご自身やご家族に有意義なものとなるよう、検査の意味や将来に向けての対策を十分に話し合っていたくことが大切です。病気発症前の遺伝子検査を「発症する可能性が低い」という結果を得て安心したいがために希望する方もいらっしゃいます。しかし、十分な説明を受けず、「発症する可能性が高い」と診断された場合、患者さんにとって大きなショックとなることが考えられますので、遺伝カウンセリングでは、診断結果が個人の気持ちを左右することについても十分説明しています。その上で遺伝子検査を受けられるかどうかは、ご本人に判断していただいています。

## ◎患者の皆様へ

遺伝性の病気について悩んでいることがあれば、その悩みの原因は何かをはっきりさせ、問題点を整理することで、不安を減らしたり自分にとって有意義な選択をすることができます。一度遺伝カウンセリングを受けてみませんか。



問い合わせ先

Tel.088-633-9218 平日13時～16時  
(相談時間は平日9時～16時)

※詳しくはホームページより  
徳大病院HP → 各種相談窓口 → 臨床遺伝診療部（遺伝カウンセリング外来）